

暮らしを守り 豊かな緑をつくる

三重の治山

三重県

三重の自然

位置・面積

三重県は、日本列島のほぼ中央、太平洋側に位置し、東西約80Km、南北約170Kmの南北に細長い県土を持っています。

総面積578千haのうち森林が373千haで64%を占めています。

また、海岸線の長さは全国8位の1,105Kmです。

14市15町 面積578千ha

三重県行政区画図



地形

北中部には、伊勢湾に沿って伊勢平野と呼ばれる低地が広がり、その西側に海拔700mから1,200mの鈴鹿山脈や布引山地などが南北に連なっています。また、布引山地の西側には伊賀盆地があります。

県中央を流れる橿田川に沿った中央構造線の南側には、台高山脈があり、大台ヶ原山の一峰、県内最高峰1,695mの日出ヶ岳を中心に紀伊山地が形成されています。また、熊野灘の海岸線は、屈曲に富むリアス式海岸が発達しています。



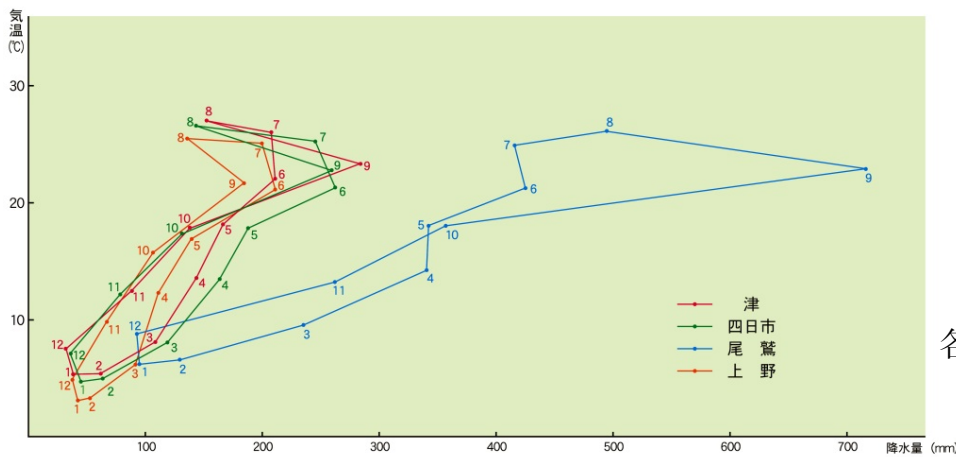
三重県の地形

気 候

伊勢平野は、南北に長く広い平野で、年平均気温は全般に15℃前後、年平均降水量は1,800～2,000mmで一般に温和な気候です。

熊野灘沿岸は、紀伊山地が北西の季節風をさえぎることや、沿岸を暖かい黒潮が流れていることから、県下では最も温暖で、特に、尾鷲から大台ヶ原山系一帯は我が国屈指の多雨地帯として知られ、尾鷲の年降水量の平年値は約4,000mmです。

伊賀盆地は、1月の平均気温は3℃で、県内では最も寒さの厳しい地域です。逆に夏の暑さは場所によっては40℃を超えた記録もあるように、気温の年変化や日変化が大きく、典型的な内陸盆地気候です。年降水量は1,300～1,500mmで県内で最も雨の少ない地域です。



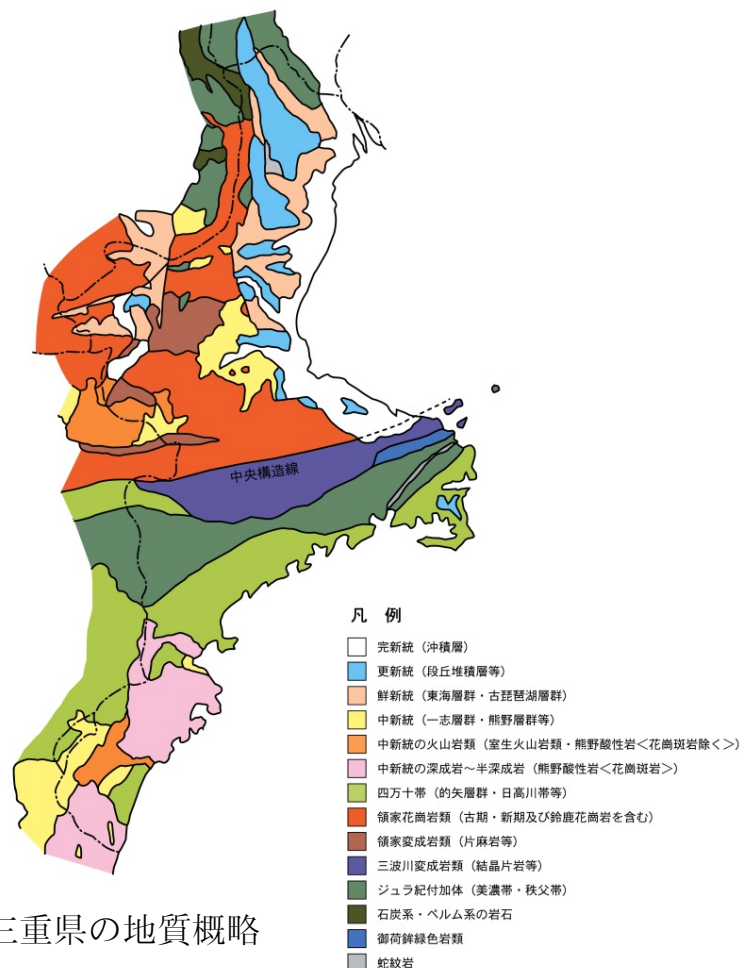
各観測地のクライモグラフ

地 質

三重県の地質は、その中央部を東西に走る中央構造線により、南側の外帯と北側の内帯に分けられます。

外帯では北側から、三波川帯・秩父帯・四万十帯と呼ばれる地質帯がほぼ東西方向に帯状に延びて分布し、南部では熊野酸性岩が四万十帯に貫入して分布しています。

内帯では外帯のような帯状の分布は見られず、中央構造線の北側から御在所山付近までは領家帯が分布しています。西部の香落溪付近には室生火山岩類が分布し、鈴鹿山脈の東部から南部にかけては、第四紀の段丘堆積層や東海層群、一志層群などが分布しています。



三重県の地質概略

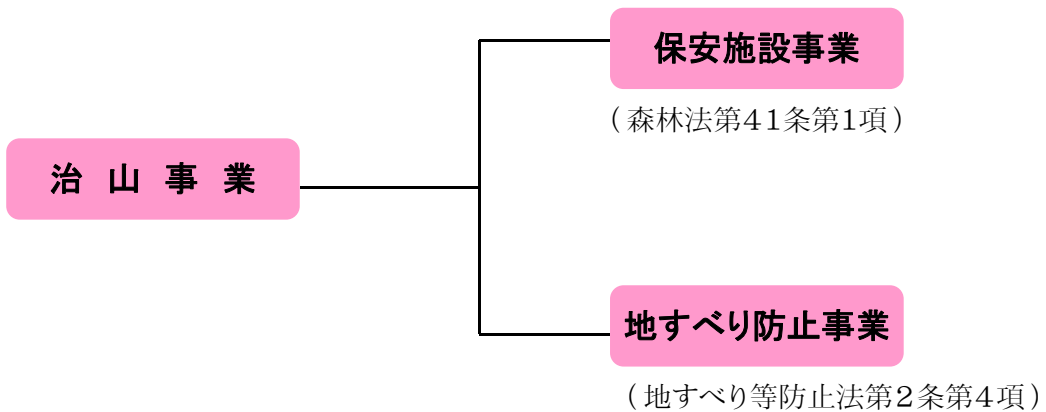
治山事業の概要

● 治山事業とは

森林は木材などの林産物を供給するばかりでなく、水源かん養、洪水や山崩れ防止、汚れた空気の浄化、レクリエーションの場の提供等、県民の暮らしを守るために欠くことのできないさまざまな働きをしています。特に、県民の生活にとって重要な役割をはたしている森林は「森林法」により保安林に指定されています。

治山事業は、その保安林がもっている機能が高度に発揮されるよう、森林の造成・維持に必要な治山ダム工、植栽工等を施工し、安全で住みよい環境を整備する事業です。

根拠法



● 荒廃地等の復旧・予防

台風などの自然災害により山崩れを起こしている森林を復旧し、山崩れの拡大と土砂の流出を防止します。また、災害を受けるおそれがある森林に予防工事を行って災害を未然に防止します。

大雨により崩れた森林の復旧状況



崩壊状況

(紀北町)



復旧後



大雨により崩れた森林の復旧状況



法枠工 (津市)



山腹工 (大紀町)



崩壊状況 (紀北町)



復旧後

予防工事による災害の未然防止



落石防護壁工 (熊野市)



谷止工 (大紀町)

●保安林整備

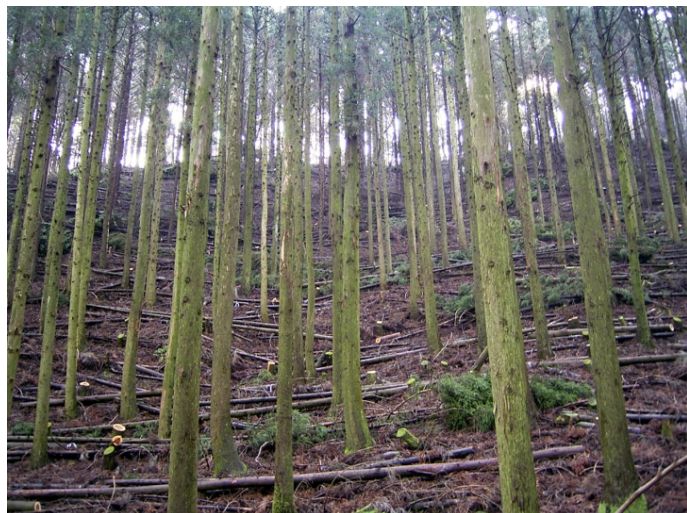
森林の機能が低下した保安林を健全な森林に育てるために森林を整備します。



本数調整伐実施前



本数調整伐実施後



植栽 (保安林改良事業)



下刈り (保育事業)

●水源地域整備

森林は洪水を緩和し、雨が降らない時でも川の水が涸れないようにするとともに、良質な水を供給する働きをしています。このような水源かん養機能を高度に発揮させ、水源の確保と県土保全のため、複層林の造成、水土保持施設等により森林の総合的整備を実施します。



豊かな水を湛えるダム湖



水土保持施設の整備（鋼製ダム）



水土保持施設の整備（鋼製護岸）



複層林への誘導



木製ダム



コンクリート谷止工

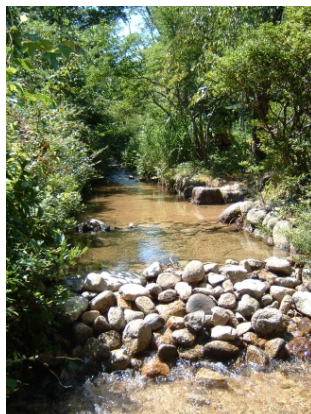
●生活環境の保全・創出

森林は、空気を浄化したり騒音を防ぐなど、私たちの健全な生活環境を守るとともに安らぎや憩いの場を与える役割も果たしています。このような森林のもつ生活環境保全等の機能を高度に発揮させるための森林の整備を実施します。



千草生活環境保全林

(菰野町)



親水施設



ボランティアによる森林の整備



三郷山生活環境保全林

(伊勢市)



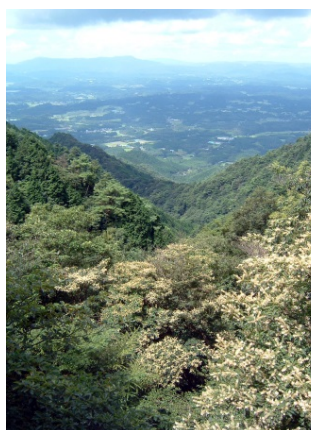
横山生活環境保全林

(志摩市)



北打山生活環境保全林

(伊賀市)



ボランティアによる森林の整備

災 害

三重県は地形、地質的にも山地に起因する災害が発生しやすい状況にあることから台風や豪雨などによる災害のたびに大きな被害を受けてきました。

特に、近年は局地的な集中豪雨が多発し小規模な崩壊でも被害が大きくなる傾向にあります。治山事業は、災害により新たに発生し、または拡大した荒廃山地の復旧と整備を行うことにより県民の生命、財産等を守ります。

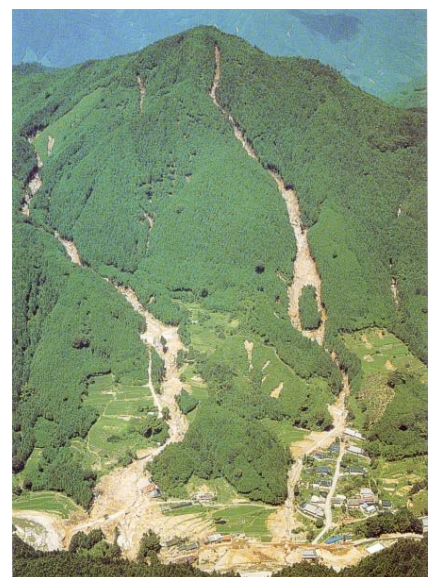
●過去の主な土砂災害

発生日月	原因	林地等崩壊の概要		主な被災地域
		箇所	面積ha	
昭和49年7月25日	・低気圧による集中豪雨	549	159	宮川村
昭和51年9月8日～9月13日	・台風17号と前線による大雨	226	39	飯高町
昭和57年8月1日～8月3日	・台風10号及び前線に伴う大雨	1,426	291	美杉村、嬉野町、松阪市
平成2年9月19日～9月20日	・台風19号による豪雨	185	10	美杉村、美里村、飯高町、海山町、熊野市
平成2年9月29日～9月30日	・台風20号による豪雨	138	4	白山町、大内山村、海山町、熊野市
平成5年9月9日	・台風14号による豪雨	280	8	菟野町、関町、久居市、安濃町、美杉村、飯高町、大山田村
平成6年9月29日	・台風26号による豪雨	135	9	飯高町、宮川村、熊野市、大宮町、飯南町、勢和村
平成9年7月25日～7月27日	・台風9号	40	6	飯高町、宮川村、紀和町、紀宝町
平成13年8月20日～8月22日	・台風11号	42	5	美里村、紀宝町、熊野市、名張市、伊賀町、大山田村、大宮町
平成16年9月28日～9月30日	・台風21号と前線による豪雨	505	84	宮川村、飯南町、飯高町、尾鷲市、紀伊長島町、海山町
平成21年10月7日	・台風18号	85	13	津市、松阪市、大台町、伊賀市、名張市、尾鷲市、熊野市
平成23年9月3日～9月5日	・台風12号による豪雨	186	70	三重県全域

※昭和49年以降に発生した被害額10億円以上の災害について、被害発生時の市町村名で掲載しています。



昭和51年9月8日～9月13日の台風17号と前線による大雨
(松阪市飯高町)



昭和57年8月1日～8月3日の台風10号及び前線に伴う大雨
(松阪市嬉野町)



平成9年7月26日の台風9号 (紀宝町井田海岸)



平成16年9月28日～9月30日の台風21号と前線による豪雨 (大台町(旧宮川村))

●復旧状況



崩壊状況 (大台町(旧宮川村))



復旧後 (災害関連緊急治山事業)



崩壊状況 (大台町(旧宮川村))



復旧後 (治山激甚災害対策特別緊急事業)

治山事業における木材活用事例



木製護岸工 (熊野市)



木製防風工 (紀宝町)



木製治山ダム (松阪市)



木製土留工 (伊勢市)



残存型枠 (松阪市)



落石防止工の緩衝材 (熊野市)